



活動の実績

01 はじまり

2024.4～ 「DIYクラブを、なぜ始めたか」

共学化に伴い、2023年8月に横浜高校を視察。共学準備についてご教授いただくと共に“生徒の憩いの場づくり”に力を入れたと聞き、セレクト授業でDIYクラブを設立。本校でも“生徒の憩いの場”をつくるため「長椅子」や「日よけ」を独自に制作。このとき、土屋材木店ではじめて資材を調達する。



02 センtralツリー(秋田杉)2024.7～

「正面入口の柱を木質化したい」と土屋材木店を訪問。
セレクト授業の概要や目的をお伝えすると、「一度見に行くよ」と土屋社長が来校。
生徒と一緒に作業を手伝ってくれる中で、授業の都度に来校いただくようになる。



03 一枚板の本棚(静岡県・天竜杉)2025.1~

生徒会室前の物置スペースを活用して本棚をつくる(図書スペースの整備) 計画を考案。土屋社長に相談すると、本格的な協力体制へ。ここから齋藤工務店も協力してくださる。本棚に並べる本を選ぶセレクト授業も立ち上がるなど、他授業との連携も活発化する。



04 羽目板加工(神奈川県産杉)2025.4～

神奈川県産の杉を利用した羽目板加工の作業を開始。木材の地産地消利用ということもあり、神奈川新聞やタウンニュースなどでも注目いただく。
土屋社長のご関係で材木関係の方が視察に訪れることも。(フジイチ様、ナイス株式会社様)



05 床板加工(杉材)2025.10～

杉材を利用した床板加工を開始。靴を脱いでくつろげるスペースに生まれ変わる。
史上最多１７名の生徒が受講していることもあり、活気が出てくると共に、役割分担で作業が効率化してくる。“自分でやろう”が定着し、生徒だけで作業が進むようになる。



06 輪切りテーブル(クス・ケヤキ)2026.5～

クスとケヤキの輪切りを使用したオリジナルテーブルを制作。
台座には、三角形の箱を組み合わせたセンスの良いデザインを採用。
人と人をつなぐ世界に一つだけのテーブルが完成しました。



07 上履き入れ(杉材)2026.6～

約40足の上履きが収納できる上履き入れを制作開始。
上履きが収納できるように高さの調整など、ミリ単位での作業に着手。
本棚の制作で得た技術と知識をもとに、一日で制作完了。





これからの
取り組み

自然共生

coexistence with nature

木に触れ、自然を感じることで
自然と共に生きる豊かな心を育む



木に触れる

木質化・図書スペース

自然を知る

CO₂・森林循環・憩いの森

地域とつながる

企業・地域

学校から広がる

広報・PR・林野庁・就職

考えて、動く

端材・アップサイクル

自然共生

植樹→育樹→活樹



SHUEI DIY 活動案内マップ

協力企業



土屋材木店



齋藤工務店



神奈川美研工業





セントラルツリー

木に触れる
木を知り
工具の使い方を学ぶ



木質化前



図書スペース

協力企業



土屋材木店



齋藤工務店

木に触れる

木や建築のプロが
生徒を直接指導



学校と地域(企業)が協働で状況的学習を実践



職場体験の一環で、いずみ野中学生が来校

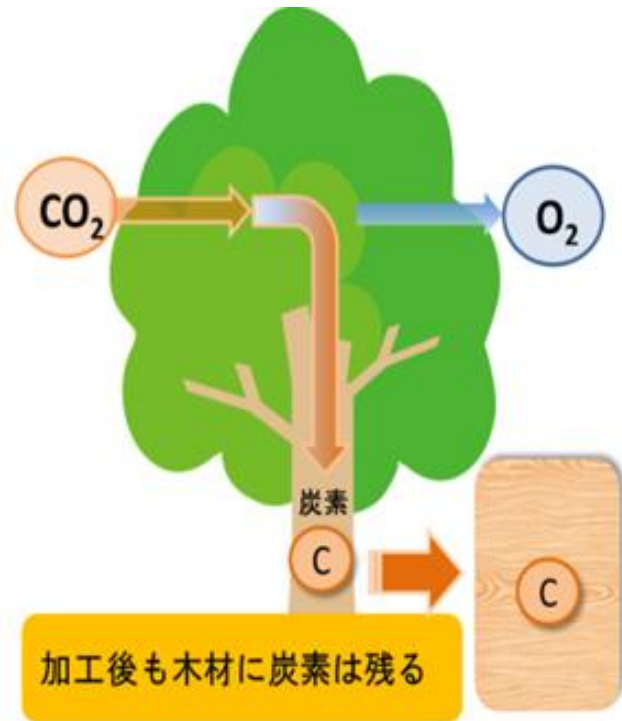
協力企業



土屋材木店

自然を知る

授業がCO₂の削減に
繋がる



一枚あたり1900×105×12のサイズに含まれているCO₂は1.67kg。

約70枚貼る計算で、約117kgのCO₂が固定されていることになる。

この117kgのCO₂固定がどれだけ環境に効果があるかを自動車の走行に置き換えると、1kmの走行あたりCO₂の排出量は約0.15kgとされているので、

$117 \div 0.15 = 780$ となる。

このことから、780km走行(東京→札幌や広島)した際に排出されるCO₂がこの壁面に固定化されることになります。(土屋材木店HPより引用)

地域とつながる 学んだ知識や経験を 広げていく



地元のお祭りで土屋材木店の出店をサポート

協力企業



土屋材木店

地域とつながる

説明会で新入生向けに
取り組みをアピール



箱根・小田原産の間伐材(ひのき)を使った鉛筆4,000本を説明会で配布

協力企業

La Luz Inc. ラ・ルース

学校から広がる

林野庁の取り組みに賛同し
温暖化防止への貢献を宣言

林野庁が推進する「森の国・木の街」づくり宣言に賛同



「森の国・木の街」づくり宣言



我が国の豊かな森林の恵みを未来へしっかりとつなぐためには、「植えて、育てる」ことに加え、「使う」ことが不可欠です。私たちは、森林の整備に繋がる木材の活用を通じて地球温暖化の防止に貢献するとともに、木とともに生きる地域の未来を育む「森の国・木の街」づくりに取り組むことをここに宣言します。

- ✓ 建築物の木造化などを積極的に推進し、木材利用を通じて地域の持続可能な発展に貢献します。
- ✓ 木材利用の促進に当たっては、SHK制度(温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度)などを積極的に活用し、地域の関係者と連携して、木材利用の効果を“見える化”していきます。

学校法人大谷学園 秀英高等学校



「『森の国・木の街』づくり宣言」を宣言した企業等の一覧

令和7年11月30日時点

＜宣言した企業・団体＞

企業・団体名	都道府県	市町村	木材関係のWebサイトなど
秀英高等学校	神奈川県	横浜市	関連のWebサイト
株式会社土屋材木店	神奈川県	横浜市	関連のWebサイト

学校から広がる

学校のイベントで
取り組みをPR



学校のフェスイベントで、DIYの授業を受講している生徒と共に、土屋材木店・斎藤工務店・神奈川美研工業ご協力のもとPR活動を実施



協力企業



土屋材木店



斎藤工務店



神奈川美研工業

学校から広がる

一次産業の重要性を学び
人材の育成にもつなげる

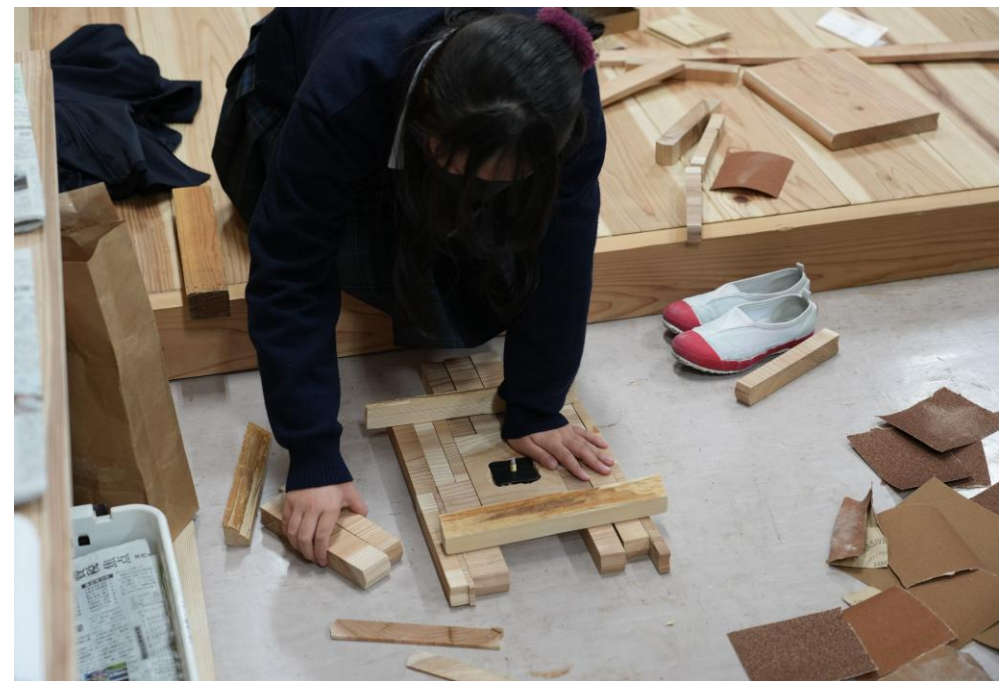
土屋社長の御関係で就職先を斡旋していただいている。

- ・ 藤本工務店
- ・ 小林住宅工業 など

※2025.1時点で就職者はいない



考えて、動く
端材は処分せず
アイデアで生まれ変える



校舎木質化で生まれた端材で工作
(上：オリジナル時計 左：ミニチュア)

協力企業



土屋材木店

考えて、動く

通常処分されるバットを
アップサイクルし再利用

ご協力

 松蔭大学硬式野球部

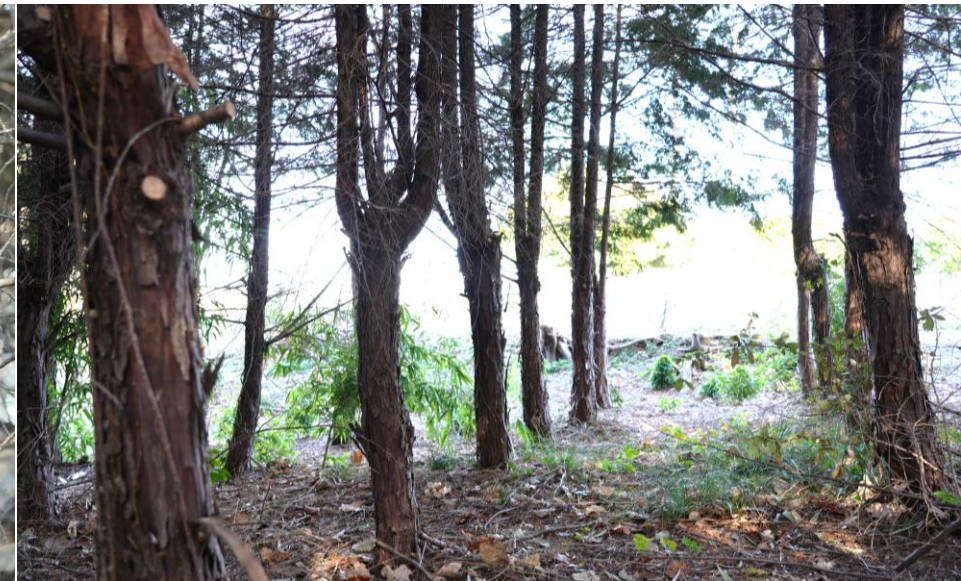


役目を終えた野球バットに新たな価値を吹き込み、
キーホルダーや積み木などへ生まれ変わらせるアップサイクルを新たにスタート。
このプロジェクトには、松蔭大学野球部（相澤監督）にご賛同いただき、
折れたバットを提供いただくなど、ご協力いただいています！



自然共生

森林循環の実践場で
枝打ちなどを体験



学校から徒歩3分の場所にある「憩いの森」を教室に、森林の管理活動を行う。枝打ちや間伐などの体験を通して、森林の循環利用や環境問題について学ぶ。

協力企業



神奈川美研工業

自然共生

植樹→育樹→活樹
森林循環サイクルを学ぶ



2026年5月
神奈川県秦野市（弘法山公園）で植樹
・マメザクラ
・ミツマタ

行動から創造する人へ

自然共生を広め
環境への興味を高めたい

活動の趣旨

DIYクラブは、校舎の木質化を通して、生徒にとっての「憩いの場」を創出すると同時に、環境問題や森林循環サイクルを、“体験から学ぶ”ことに重点を置いた教育活動である。

本活動では、地元企業や地域と連携しながら、ものづくりの過程そのものを学びの場とする「状況的学習」を重視している。正解が示されない中で、まず動き、やりながら学び、その過程で生まれる気づきや発想を自分なりの工夫として積み重ねていく。

本活動は、完成形を定めるものではなく、動き続ける中で経験が重なり、設計図が少しずつ豊かになっていく学びである。「Do It Yourself（自分でやろう）」の精神のもと、学校・地域・社会をつなぐ学びの循環を生み出し、自ら考え、動き続けられる人財の育成を目指している。